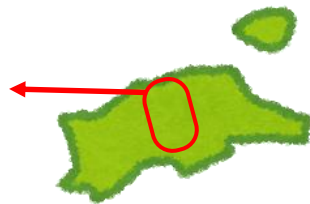


取組の概要

- 計画作成主体：綾川町地域農業再生協議会、坂出・宇多津地域農業再生協議会
 対象品目：野菜（アスパラガス）（産地面積 8.49ha）
 主な取組主体：綾歌南部アスパラ栽培生産組合
 成果目標：販売額の10%以上の増加
 基準（H30年度）1,587千円/10a
 目標（R4年度）1,749千円/10a
 導入施設等：生産支援事業（パイプハウス）

香川県
 綾川町・坂出市
 綾坂地区



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

香川県オリジナルアスパラガス品種である「さぬきのめざめ」の新植の推進、かがわ型アスパラガス栽培システムによる高畝省力化栽培法の導入などにより、省力的かつ安定的なアスパラガスの生産体系を講じてきている。

こうした中、新たに栽培管理ハウスを整備することで、栽培面積を拡大させ、さらに増反や新規参入がしやすい環境へと繋げ、単収の増加及び品質の向上を図り、販売額の増加を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】

アスパラガス産地形成の推進として、アスパラガス栽培管理パイプハウスの整備を支援。

推進体制

- ・中讃農業改良普及センター(県)
- ・綾川町、坂出市
- ・JA香川県

指導・助言

- 綾川町農業再生協議会、坂出・宇多津地域農業再生協議会
- ①計画の策定・管理
 - ②取組計画への助言

情報共有

- ・協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)
- ・行政機関(県、市町)及びJA香川県によるサポート体制

取組主体

- ①取組計画の作成
- ②取組実施等

地域における独自の取組

〈主な取組〉

県、市町、JAが連携して事業推進や進行管理に取り組みむとともに、目標が達成できるように、技術面からの指導及び支援を行う。

また、施工費に関する補助として、県単事業も併せて実施し、生産拡大を進める。

期待される事業効果

かがわ型アスパラガス栽培システムによる栽培ハウスの導入促進により、作付面積の拡大や単収の増加、秀品率の向上が図られる。

また、荷造り調整支援により生産者の労働負担軽減することで、産地全体の生産拡大効果を見込む。



販売額が増加

～アスパラガスの販売額～

